

第6学年 社会科学習指導案

個人研究主題	歴史的事象に対して自分の問題をつくり、問題解決の過程に沿って最後まで粘り強く学びを進めていくにはどうすればよいか
--------	--

1 単元名 戦国の世から天下統一へ

2 単元について

(1) 学習指導要領の解釈について（単元観）

本単元は、学習指導要領第6学年の内容（2）（カ）に準拠して設定したものである。内容理解であれば、特に織田・豊臣が政策を進めた様子を手掛かりとして、群雄割拠の状態であった戦国の世が統一されたことを理解することでねらいは達成される。しかし、政策を為政者の立場から捉えただけでは、一面的な解釈しか形成されない。そうすると、公民としての資質・能力の基礎に関わる政策の善し悪しを公正に価値判断できる力が薄れてしまう。そこで、大名や百姓といった立場を基にして教材化を図ることで、政策を複数の視点から捉えて政策の意図を考えることができるようにし、その善し悪しを、より公正に価値判断することができる単元構想が大切となる。

(2) 子供の実態について（児童観）

本学級の児童は、自分の問題を見いだすことを苦手としている。これは、学習対象と自分との距離が離れているため、具体的なイメージをもつことが難しいからである。また、歴史学習においては、暗記科目のイメージをもち、事象に対して一面的な解釈を形成しがちである。これは、歴史（社会）を科学的に探究する経験や、多様な考えをもつ他者と対話しながら自分なりの考えや解釈を形成する経験が少ないからである。

(3) 教材について（指導観）～豊臣秀吉の政策に着目して～

多様な解釈が存在する豊臣秀吉（以下秀吉）を具体的に取り上げ、児童が秀吉に寄り添いながら問題解決的な学びの過程を経て学び続けられる活動を工夫する。本時では、将軍ではなく、関白となった秀吉が誰のために政策を行ったのかについて話し合う。「大名からすると、検地は確実に年貢を取り立てられる政策だ」「百姓からすると、刀狩りは自分たちを救ってくれる政策だ」等、複数の視点から捉えた政策を根拠に互いに関わる中で、児童は、新たな価値を創造していく。秀吉の政策の意図を深く考えることを通して、児童は秀吉という人物を多様に解釈していく。

3 単元の目標

- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産等について、地図や年表、その他の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解することができるようにする。
- 調べたことを年表や図表等にまとめ、戦国の世が統一されたことを理解することができるようにする。（知識及び技能）
- 世の中の様子、人物の働きや文化遺産等に着目して、問いを見だし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現することができるようにする。
- キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、学習問題に対する予想や学習計画を立てたり、考えを見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決することができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産等について、地図や年表、その他の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解している。 ②調べたことを年表や図表等にまとめ、戦国の世が統一されたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや文化遺産等に目し、問いを見だし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ②キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。	①キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、学習問題に対する予想や学習計画を立てたり、考えを見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 全体計画と評価規準（6時間）

1	2	3	4	5（本時）	6
学習問題をつくり、予想を立てて解決の見通しをもつ。	織田信長の働きについて調べる。	織田信長が行った政策について話し合う。	豊臣秀吉の働きについて調べる。	豊臣秀吉が行った政策について話し合う。	二人の武将の天下統一に向けて果たした役割について話し合う。
思判表①態度①	知技①	思判表①	知技①	思判表①	思②知技②

6 本時の学習（本時5／6時）

(1) ねらい

複数の視点から捉えた政策を関連付けたり総合したりすることを通して、秀吉の政策の意図を考え表現することができる。【思考・判断・表現①】

(2) 展開

学 習 活 動
学習課題 豊臣秀吉はどのようなことを行った人物なのだろう。（1／6時設定） ・秀吉は、なぜ関白（政治家）になったの？自分が理想とする社会の仕組みを作りたいから？秀吉・大名・百姓…政策は一体誰のため？ 本質に迫る問い 秀吉は、誰のために政策を行ったの？（4／6設定） 1 秀吉の政策の意図について話し合う。（35分） ① 課題に対する自分の考えをタブレットに入力する。[5分] ② タブレット上で友達の考えを吟味する。[20分] （グループ等で、友達の考えに対して質問したり議論したりする） ③ 友達の考えを知り、自分の考えをよりよいものにする。[10分] 2 よりよくなった自分の考えを友達と共有する。（5分） 3 学習課題について自分の考えをまとめる。（5分）

ICT 活用 Point1

・Excel（①レーダーチャートを活用して政策を評価②評価した根拠）で互いの考えやその根拠を共有し、友達の考えを吟味できるようにすることで、協働して新たな価値を創造する（自分の考えを深める）ことができるようにする。

ICT 活用 Point2

・OneNoteのClass Notebookやロイロノート等で多面的・多角的に見るための思考ツールを活用し、政策を評価するにあたっての情報処理の過程を可視化・操作化して共有することで、政策を複数の視点から捉えることができるようにする。

評価（方法）

複数の視点から捉えた政策を関連付けたり総合したりすることを通して、秀吉の政策の意図を考え表現することができたか。（OneNote・ノート）
【思・判・表】

(3) 使用 ICT ツール

Teams OneNote Excel ロイロノート 等